

インターフェイス

ここでは、インターフェイス画面周りについて説明します。

ツールボックス

ツールボックスには選択、3D構造、2D図面及び視覚化のためのさまざまなツールがあります。



ツールバー

ツールバーはアイコンまたはテキスト形式で表示され、トピック別にグループ化されたコマンドやメニューの集まりです。



ツールバー上で<右クリック>でツールバーの表示設定が変更できます。
※Mac版は<control+クリック>で設定できます。

情報ボックス

情報ボックスは現在アクティブのツールや選択されている要素の情報を表示します。また、各種設定の変更を行うことができるボックスです。

各ツールの設定 ウィンドウを開きます。 図形作成法の切替 構造の切替 取り付け高さ表示



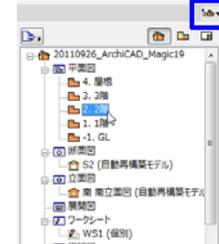
タブバー New

タブバーは、バックグラウンド処理を利用し、モデルウィンドウ間をすばやく切り替えることができ、複数のウィンドウを好きなだけいくつでも追加することができます。



ポップアップナビゲータ

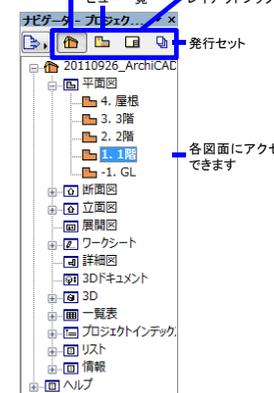
ポップアップナビゲータは、複数のモデルウィンドウを開く際に、ナビゲータパレットを使用するよりもすばやく操作できます。



ナビゲータ

ナビゲータ機能は、ARCHICADプロジェクト内の各図面にアクセスできます。

プロジェクト一覧 ビュー一覧 レイアウトブック



参照パレット

参照関連コマンドには、インターフェイス内の複数のポイントから簡単にアクセスできます。



参照パレットの表示/設定
参照表示オン/オフ切替
参照の選択
参照図面のコントロール



図面比較機能
図面の表示設定

画面表示設定

画面表示設定では表示スケール及び拡大/縮小などの表示情報をコントロールできます。



ナビゲータ表示 現在のズーム 拡大 スクロール 位置を回転 前のズーム

情報ボックス

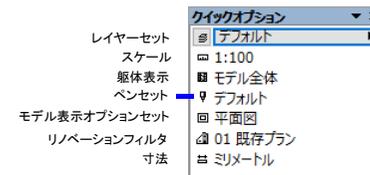


参照パレット

クイックオプション

クイックオプション

レイヤーセット等、有効なウィンドウの現在の設定が表示され、素早く変更ができます。



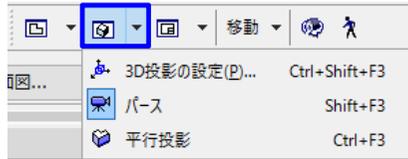
3Dウィンドウでの視点設定

3Dナビゲーションパレットの移動/回転モードを使い角度を変更、ビュー設定の平行投影/パース投影の切替えができます。

3Dナビゲーションパレット

平行投影・パース投影の角度の切替え

パース投影図のコントロール



3Dで移動するためのコマンドは、ツールバーに表示されており移動・回転モードとウォークモードに切り替えられます。3Dウィンドウが有効な場合、下部スクロールバーにアイコンショートカットが表示されます。

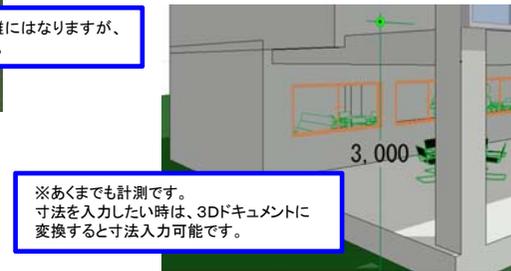
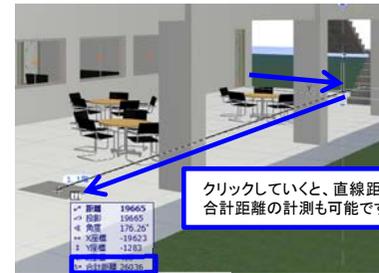
ツールバーより3Dウィンドウへのアクセスおよびパースと平行投影ビューの設定ができます。



※ヒント→編集モード中にSHIFT+マウススクロールで角度変更ができます。

計測ツール

3D上でも計測ツールを使うことができます。

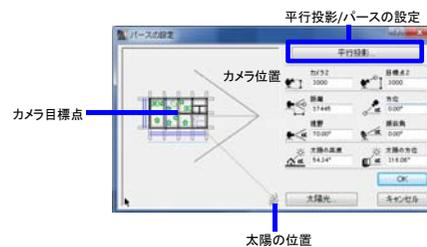


3Dドキュメント

3D投影の設定

平行投影の設定

パースの設定



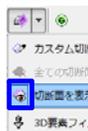
カメラの目標点、位置や太陽の方位角は、ドラッグで移動可能です。

太陽の位置

3D切断

任意の場所で1つ以上の切断面を使用して、モデルの3D断面図を定義します。

切断面を表示

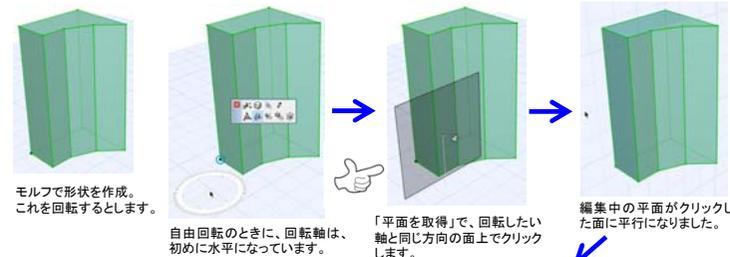


切断面をドラッグ

確定する

編集中の平面の位置変更

編集中の平面をデフォルトとは異なる向きに設定することができます。

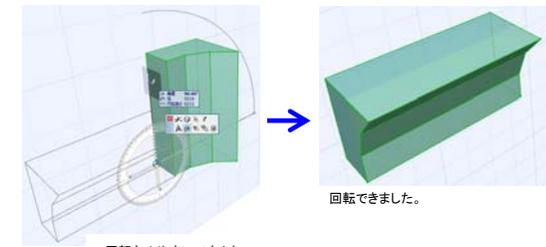
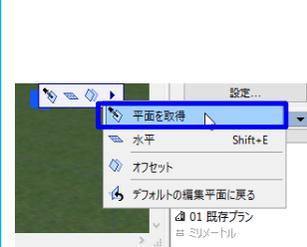


モルフで形状を作成。これを回転するとします。

自由回転のときに、回転軸は、初めに水平になっています。

「平面を取得」で、回転したい軸と同じ方向の面上でクリックします。

編集中の平面がクリックした面に平行になりました。



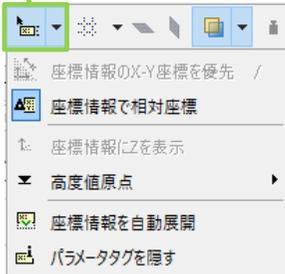
回転させやすいですね。

座標・参照入力モード

座標値は[座標情報]に表示されます。参照線はスナップした要素に入力参照ラインを表示します。

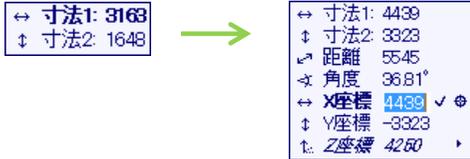
座標情報の表示設定

座標情報を使用するには、ツールバー上の座標情報切替ボタンを有効化します。

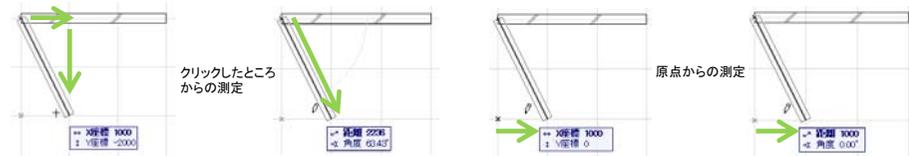


座標情報

ポップアップメニューには、距離や角度などが表示されます。入力中にキーボードのX・Y等のキーを押すと入力可能な座標情報が表示されます。



相対座標入力/絶対座標入力の切替



相対座標

相対値は編集原点から測定され、ワークシートの最新編集点からカーソルまでの水平(X)距離、垂直(Y)距離、半径(R)距離、および角度(A)距離が表示されます。

絶対座標

絶対値はユーザー原点から測定されます。絶対値では常に、ユーザー原点からワークシートの最新編集点からカーソルまでの水平(X)距離、垂直(Y)距離、半径(R)距離、および角度(A)距離が表示されます。絶対座標を使用していることを示すために、原点とカーソルの間には一時的には線が描かれます。

参照線の表示設定

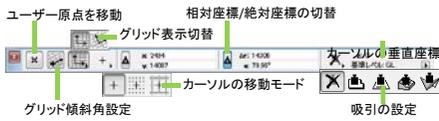
参照線を使用するには、ツールバー上の参照線切替ボタンを有効化します。



座標ボックス・制御ボックスを使用する場合は、<ウインドウメニュー>の<パレット>より表示します。

座標ボックス

座標ボックスではワークシート上での現在のカーソル位置の情報がまとめて表示されます。



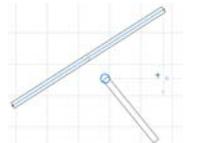
制御ボックス

制御ボックスには要素を入力するための各種モード等があります。



スナップガイド New

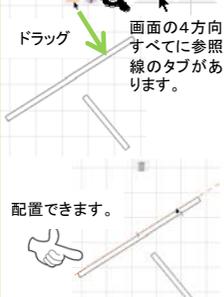
既存要素に沿って表示される一時的な直線や円弧であり、正確な要素配置に役立ちます。



任意の辺または点でQキーを押すと、「スナップ参照を強制」し、(作業環境のタイマー設定に関係なく)即座に辺または節点をスナップ参照として強調表示できます。

参照線の表示 New

参照線は削除するまで常に表示されます。

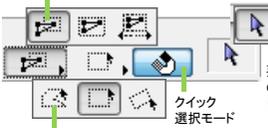


クイック選択モード

矢印ツールの[クイック選択]モードを使うと各要素の領域上でクリックすると選択ができます。

選択方法

<矢印>/<矩形選択>ツールの選択領域の切替
要素一部/要素全体/方向依存



図形作成方法
ポリゴンの選択領域の入力形状が選択できます。

※選択中にキーボードのスペースを押すと、クイック選択モードのオン/オフの切替ができます。

1 クイック選択モードをアクティブにして壁/スラブ/オブジェクト等の各要素の上にカーソルをクイック選択モードが有効になります。



※どのツールの状態でもキーボードのSHIFTキー+クリックで選択/連続選択可能です。

要素/サブ要素の切替はCtrl+Shiftキーで切替ができます。(モルフのみ)

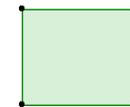


ペットパレット入力/編集機能

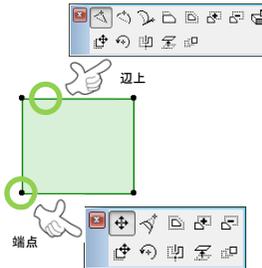
壁/スラブ/屋根/塗りつぶし/線分等の各要素をマウス操作で入力/変更/修正や移動/回転/コピー等を行えます。※3Dウインドウでも同様の操作が可能です。

多角形のペットパレット編集

1 スラブ等のツールを使用して入力/選択します。(選択されたツールをアクティブにしてください)



2 選択した多角形の辺上でカーソルが三叉形状及び端点上でカーソルが左クリックするとペットパレットが表示されます。(選択されたツールをアクティブにしてください)



3 ペットパレットにはストレッチ/形状変更/拡大/縮小プリアン演算などが行えます。各コマンドを試してみてください。(選択されたツールをアクティブにしてください)

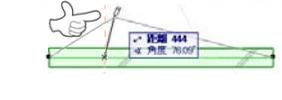


壁及び線分のペットパレット編集

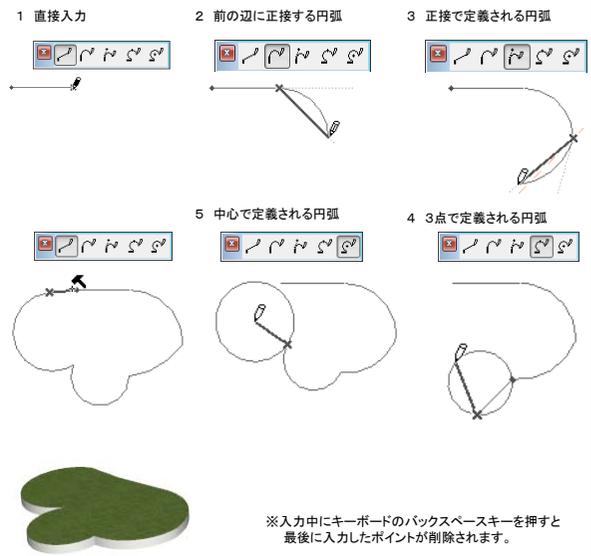
1 壁等のツールを使用して入力/選択します。(選択されたツールをアクティブにしてください)



2 選択した壁/梁/線分等の辺上でカーソルが三叉形状で左クリックするとペットカーソルが表示されます。多角形同様に各コマンドを試してみてください。(選択されたツールをアクティブにしてください)

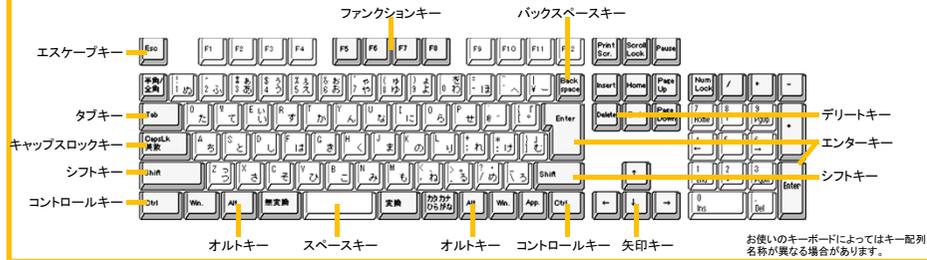


ペットパレットを使った入力<壁/スラブ/線分等の各ツールで使用できます>



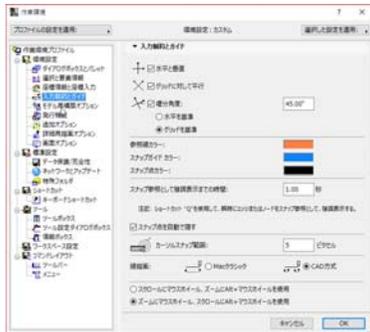
※入力中にキーボードのバックスペースキーを押すと最後に入力したポイントが削除されます。

キーボード: 主なキーの名称



作業環境のカスタマイズ

ARCHICADでの作業に慣れるに従って、プログラムの機能を使用し、各種パレットやツールバー、メニューなどを画面に配置するための個人的な環境設定が作成されています。[オプション]→[作業環境]ダイアログボックスを使って、これらのオプションのほとんどを設定します。



カスタマイズした設定を保存する
 設定のそれぞれの設定を保存するには、[作業環境]ダイアログボックスの左側にあるメニューを使用して、保存する設定セットを選択します(例えば、ショートカットを変更してそれを保存する場合、ショートカットをクリックします)。これで[設定オプション]が表示され、設定を保存、名前変更、削除、再定義、エクスポートまたはインポートすることができます。



設定を適用する
 設定のそれぞれの設定を保存するには、[作業環境]ダイアログボックスの左側にあるメニューを使用して、保存する設定セットを選択します(例えば、ショートカットを変更してそれを保存する場合、ショートカットをクリックします)。これで[設定オプション]が表示され、設定を保存、名前変更、削除、再定義、エクスポートまたはインポートすることができます。



固定ショートカットキー

操作をキャンセル	ESC	入力中の場合→操作をキャンセル 選択中の場合→選択を解除 矩形選択の場合→矩形選択を解除 何も選択されていない場合→ 矢印ツールに切替
パラメータを取得	Alt	各ツールの設定をコピーします ※スナップすると黒表示します。
パラメータ置換	Ctrl+Alt	各ツールの設定を既存の要素に 貼り付けします ※スナップすると黒表示します。
クイック選択切替	スペースキー	矢印ツールのクイック選択モードの ON/OFFを切替えます。
マジックワンド	スペースキー	ツールの操作中にマジックワンドを 有効にします ※スナップすると黒表示します。
切り取り	Ctrl+クリック	要素の最も近い2点間を切り取ります または設定角度に黒表示します。
マウスの制御角度	shift	マウスの水平方向/垂直方向の角度 または設定角度に固定します
ユーザ原点を移動	Alt+shift	ユーザ原点の移動
切替をハイライト	tab	重複する要素をハイライトで切り替 えます。
最後のポイントを削除	バックスペースキー	ポリゴン入力時に最後に入力した ポイントを削除します。

画面表示ショートカットキー

拡大		+
縮小		-
スクロール		← ↓ → ↑
回転		O
ウインドウに合わせる(F)		Ctrl+1
再構築(B)		Ctrl+Shift+R

平面図/3Dウインドウ移動ショートカットキー

平面図	F2
3Dウインドウ	F5
パース	Shift+F3
平行投影	Ctrl+F3

※ウィックリファレンスでは、デフォルト設定のショートカットキーを紹介しています。ショートカットキーは自由にカスタマイズ可能です。

ファイルメニュー: ショートカットキー

新規作成(N)	Ctrl+N
ArchiCADを終了(X)	Ctrl+Q
開く(O)	Ctrl+O
チームワークプロジェクト開く/参加...	Ctrl+Alt+O
プロジェクトを閉じる(C)	Ctrl+Shift+W
上書き保存(S)	Ctrl+S
名前を付けて保存(A)	Ctrl+Shift+S
オブジェクトを開く(O)	Ctrl+shift+O

編集メニュー: ショートカットキー

元に戻す(U)アンドゥー	Ctrl+Z
やり直し(E)リドゥー	Ctrl+Shift+Z
切り取り(Z)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
全てを選択(A)	Ctrl+A
移動(D)	Ctrl+D
移動コピー(G)	Ctrl+Shift+D
回転(R)	Ctrl+E
ミラー(M)	Ctrl+M
移動コピー(I)	Ctrl+Shift+M
高度変更(V)	Ctrl+9
連続コピー(Y)	Ctrl+U
ストレッチ(H)	Ctrl+H
サイズ変更(Q)	Ctrl+K
検索と選択(F)	Ctrl+F
選択セットの編集(N)	Ctrl+Shift+T
ツールの設定(T)	Ctrl+T

ツールメニュー: ショートカットキー

グループ化(G)	Ctrl+G	
グループの解除(N)	Ctrl+Shift+G	
グループの一時解除(S)	Alt+G	
フロアの設定(S)	Ctrl+7	
上のフロアへ移動(U)	Shift+F2	
下のフロアへ移動(D)	Ctrl+F2	
フロアへ移動(T)	Ctrl+Shift+F2	
レイヤー設定(L)	Ctrl+L	
グリッドスナップ(G)	S	
参照線を表示/隠す	L	Change
スナップ参照を強制	@	
スナップ参照を強制	Q	New
前のズーム(V)	Ctrl+[
次のズーム(X)	Ctrl+]	
3D投影の設定(P)	Ctrl+Shift+F3	
3D要素フィルタ/切断	Ctrl+Alt+A	
3D切断(C)	Ctrl+Y	
矢印ツール/直前のツールの切替	W	
図形作成法の切替(情報ボックス)	G	
組み立て法を切替(情報ボックス)	C	
次のペレット/パレット項目に切替	F	
前のペレット/パレット項目に切替	Shift+F	
要素スナップ(E)	Alt+E	
吸引	Shift+v	
メジャー(計測ツール)	M	
参照オン/オフ	Alt+F2	
座標情報で値を編集	N	